

## 「弟子、雪下ろし講習会に行く 後編」



平成 26 年 1 月 22 日 「弟子、雪下ろし講習会に行く 後編」

「弟子、雪下ろし講習会に行く 前編の続きです > >

座学編で雪下ろしの危険、命綱とアンカーの必要性に迫った「雪下ろし講習会」

いよいよここからは実技にうつります。

この模様は 1 月 27 日(月曜日)の TUI「N スタ山形」18 時 15 分頃のニュースで放送される予定です。



真剣な表情で雪下ろし講習会に望む一同

上村先生「今日はロープの結び方をひとつだけ覚えていって下さい。」



エイトノットという簡単な結び方を参加者でやってみることに。



弟子もやってみます。

先生 「目をつぶってもできるように練習してください、後でテストしますよ！」

弟子 「何回かやったらできるようになってきたけど、綺麗にできない。」

先生 「綺麗にできるように頑張って！結び目が綺麗だと強度も高くなるし、固くしまっても解きやすくなるから！」





ロープが結べたら、カラビナ(留め具)でアンカーとロープをくっつけます。

先生 「君(右の方)はアンカー役だから動かないようにね！」

弟子 「真面目な実技なんだけど人が繋がれていて、それを TV 局が撮影していたりなんだかシュール……」



(右の方はアンカーだと思ってください。)

先生 「こういう状態で作業を行います。では次に安全帯をつけてみましょう！」



安全帯はウエストだけでなく股の所の長さも調節できたり、

ロープで繋ぐ中央と後ろの部分の強度がしっかりしています。

弟子 「パンツみたいな形で前後ろもわかりやすいですね…とは言っても百聞は一見にしか  
ずなので、今回参加されていない方はコメリ等に見に行かれてはいかがでしょうか？」





安全帯をついたらアンカーと繋がります。(右端の腕はアンカーだと考えてください)

先生 「思いっきり引っ張るよー」

参加者 「(綱引きみたい…)おおー強い力で引っ張っても大丈夫だ。」

先生 「更にこの金具をつけると長さの調整もスムーズに行えるよ。」





この金具を使えば安全な長さに切り替えながら作業が行えます。

参加者 「これ、おいくらなんですか？」

先生 「実技に使うのは 3500 円。高いのだと 6000 円ぐらいするのもあるよ。」

弟子 「うーん…屋根の雪下ろしを安全にやろうとするとかなりお金が…」



費用の問題は頭が痛いですが、とりあえず外での実技にうつります。

今回は安全に作業できる屋根がなかったため、平地での作業となりました。

ここからはアンカーが屋根になかった場合の最終手段としての方法です。

「絶対安全」というものではありませんので使用の際は十分ご注意ください。



雪を踏み固め、木の棒に命綱をくくりつけたものを埋めて雪をかぶせ固めます。





それを引っ張ってみました。

弟子 「おおーすごい！ぜんぜん抜けない。」

先生 「でも、サラサラな雪や雪が溶けかけている時にはこの方法では危ないのでやっぱりアンカーをつける等しっかりとした安全対策をして下さい。」

弟子 「あくまで緊急手段なので本当にご注意下さい。」



最後は集会室に戻ってまとめ。

「屋根から落ちた経験があって今回参加した。命綱をつけなくては…と思っていたがやり方が分からず、今回参加して方法を教えて頂けて良かった。」

「グループで参加した。やり方が分かったので2~3セット購入して見たいと思う」

など参加者からは前向きな感想が多く聞かれました。

先生からは

・「今回の実技の方法は緊急の際以外は使用しないで、きちんとしたアンカーを用意して行ってください」

・「命綱や安全帯を購入して貸出をやっている自治体もあるのでそういう方法もあります。」

・現場ごとに状況は違います。それぞれの現場で「安全確保」の方法を話し合ってから行ってください」

というお話がありました。

今回、雪下ろし講習会に参加して朝日町歴7ヶ月の弟子が気づいたのは

「雪国で生活するということは危険な上にお金がかかることばかりだ・・・雪国の人口流出や過疎化が進むのも分かる・・・」

という現実でした。

少しでも負担を減らすため、雪下ろしの道具は地区で共有したり、アンカー設置費用の助成をしてもらったりできないのでしょうか。

今後、雪害をなくすためにも行政や地区内の方々との連携が必要だと感じました。

という訳で「この記事を読んだ行政の担当部署の方、ご検討よろしく申し上げます。」

## おまけ

---

最後に先生から紹介があったのは「クマ武スノーダンプ」





ステンレス製のため錆びにくく丈夫で軽いそうです。

先生 「スノーダンプに雪を載せたら、落とすだけ。重力に任せてください。」



こんな感じで力を入れずにやっています。



消防署朝日分署の方もいらしていました。





スノーダンプが軽いので、上から雪を崩すのもラクラクでした。

雪下ろしを安全に、あるいは今までよりも楽に行う道具は日々進化しています。

これを気に検討されてみてはいかがでしょうか。